

日本銀行宮崎事務所長寄稿文

「日本銀行宮崎事務所 80 周年に寄せて」（「宮崎日日新聞」2026 年 3 月 4 日掲載）

日本銀行宮崎事務所は 2026 年 2 月に 80 周年を迎えた。80 年の長きにわたる、地元からの多大なご協力に、厚くお礼申し上げます。

日本銀行は国内に、本店のほか、32 の支店、12 の都市に事務所を有している。宮崎事務所は、1946（昭和 21）年 2 月に、宮崎銀行の前身・日向興業銀行本店内に開設され、71（同 46）年に宮崎銀行本店新築に伴い同行本店内に移転し、現在に至っている。

宮崎事務所の業務は大きく二つある。一つは日本銀行固有の業務、もう一つは宮崎県金融広報委員会事務局としての業務である。

日本銀行固有の業務としては、まず、お札（銀行券）の流通が挙げられる。民間金融機関を通じ、使われたお札を回収するとともにクリーンなお札の供給を行う。これにより、流通するお札のキレイさを維持しつつ、2024 年に発行を開始した新しいお札への入れ替えを進めている。

また、本県の金融経済情勢の把握と対外公表も重要な業務である。県内経済界の方々に多大なご協力をいただいで得られた情報は、日本銀行本店に集約され、金融政策の決定に役立てられている。また、月例記者会見などを通じ地元還元している。

県金融広報委員会は金融に関する広報や金融経済教育の推進を行っている。24 年に国の中央組織として発足した金融経済教育推進機構（J-FLEC）と協力し、中立公正な講師の無料派遣などを行っているので、ぜひ当事務所にお問い合わせいただきたい。

当事務所は引き続き、これらの業務を通じ、本県経済の発展および県民の皆さまのより豊かな生活に資する活動を行ってゆく所存である。

<プロフィール>

藤江康弘（ふじえ やすひろ）

1992 年慶応大卒、同年日本銀行入行、2025 年 6 月から現職。ニューヨーク州弁護士資格保有、日本証券アナリスト協会検定会員。